

# みんなの環境

## 第2号

2006年8月15日 編集・発行 あつぎ環境市民の会

[http://www.geocities.jp/atsugi\\_kankyo/](http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/)

## 7月の環境ニュース

### 温暖化が進むと梅雨明けに遅れ？

今年の梅雨はなかなか明けず、しかも記録的な豪雨と被害を伴ったと言うことで長く記憶に残るかも知れない。来年も同じように大変な梅雨になって、今年がそのような現象の始まりだったなんて言う記憶の残り方でないことを祈りたい。地球温暖化が進むと梅雨明けに遅れ……気象研予測（7/14読売）と言う報道があった。西日本の集中豪雨も激しくなると言うことだ。

例年だと鳴き出すはずのセミの声がなかなか聞こえないのも気になる。アブラゼミより先にツクツクホウシが鳴き出すのではないかと思うほどだが、さすがにそれはないようだ。

日本が豪雨にさらされていた頃、ヨーロッパは熱波にさらされ、31人も死亡したという（7/22朝日、7/23日経）。

ドイツ北部のハンブルクでは、7/19-7/25の間、日最高気温が28℃以上の日が続き、20日には37℃近くまで上がった（平年値：約22℃……気象庁全球異常気象監視速報）。イギリスでは史上最高気温になる予想で、バンコクを上回る可能性（7/19CNN）があるそうだ。予想の結果はどうなったことか。そのほか、スイス・アイガーの岩壁が氷河の融解で崩落した（7/15朝日）とか、これはNHKのニュースの画面でも見られた。霞ヶ関ビルに相当する体積の岩が崩れたそうだ。

アメリカ本土でも今年前半の平均気温は、史上もっとも高温だった（7/15読売）そうだ。梅雨明けの厚木も暑くなるのだろうか？7/15に海老名で36.6℃（7/15毎日）の時はエアコンのないわが家ではさすがに仕事の能率が落ちた。

### 2006年セミの鳴き始め

（7/26日現在 筆者の個人的な記録から）

ニイニイゼミ 7/7（鎌倉）7/11（煤ヶ谷）

ヒグラシ 7/11（煤ヶ谷）

アブラゼミ 7/26（依知）

ミンミンゼミ 7/26（林）まだ鳴いていない姿のみ

（青砥航次）

## ～イベントおしらせ～

### ☆ 自然再発見 Vol. 4

#### 〈なく虫をきく会〉

虫の声に秋の気配を感じる人も多いのではないのでしょうか。聞こえる虫の声からどんな虫か分かったら楽しいのではないのでしょうか？ そして、ちょっぴりスリルのあるナイトハイクも兼ねて参加しませんか。

- 日 時：8月27日(日) 18:30 から 21:00 (雨天中止)
- 会 場：厚木市荻野運動公園 体育館前集合  
厚木市中荻野 1500 Tel.225-2900
- もちもの：懐中電灯、メモ帖など
- 服装：長袖、長ズボン、しっかりした履物
- 参加無料
- 問い合わせ、申し込み：046-222-2356 青砥

### ☆ 生活再発見 Vol. 2

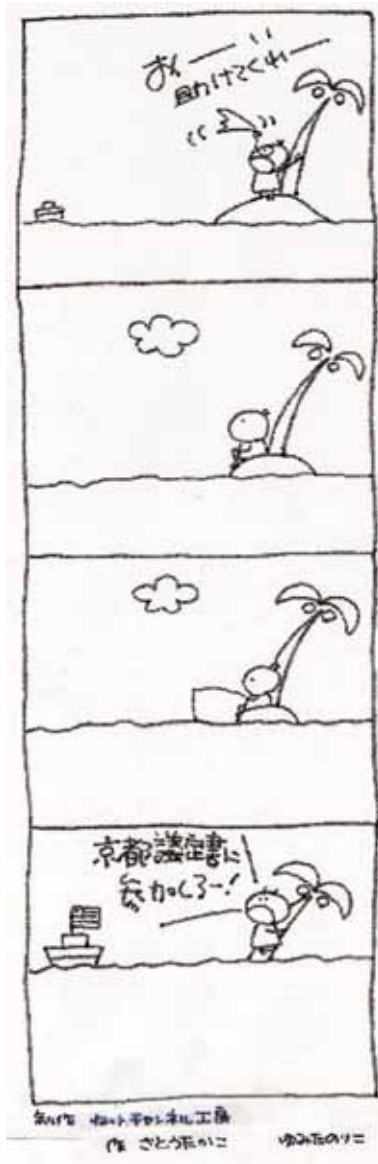
#### 〈ソーラークッカーを作ってみよう〉

太陽の光でお料理できるってほんとかな？  
太陽から8分19秒で届いた光をソーラークッカーでつかまえて、おやつをつくるんだよ。おいしいよ！ ソーラークッキングを体験します。

- 日 時：9月10日(土) 9:30 から 12:30 9時受付
- 会 場：パートナーセンター 会議室B  
厚木市中町 1-4-3 Tel.225-2500
- 対 象：小学生以上 (低学年は父母同伴してください)
- もちもの：はさみ、カッター、筆記用具、定規、空き缶
- 参加費：300円
- 募集人数：20名
- 問い合わせ、申し込み：046-224-5010 狩野

# ヒトちゃんねる

## 地球温暖化



## ～私たちの活動～

### あさがおの根もすごいんだ!

#### 自然観察教室をサポート

厚木・依知南公民館と地域子ども教室運営委員会の主催による夏休み自然観察教室に講師として招かれ、7月26日、27日の両日開講した。テーマは依知の自然から地球環境を考えようと「野外観察会」と「なかよしとわざ」とした。初日の参加は小学生35名。5つの班をつくり、野外で5種類の植物や生き物を探す。班ごとに集めた件数を競い、集めたものを説明、解説した。木の実や葉、クワガタの頭など袋に入れて、手を入れ感触で答える。ゲーム感覚で自然に親しみ、五感を磨いた。

2日目は3年生11名の参加。あいさつの意味やわらべうたを歌って気持ちを一つにまとめ本題にはいる。草を食べる生き物をカードに書いて集約しどれが強いかな。食物連鎖がスムーズに進には、草と水と太陽の光が大切。最後にロープワークを伝授して2日間の自然教室を終わった。参加した男の子は「とても暑かった。写真では沢山の生き物がいたけど見つからなくて残念だった」と楽しそうに話した。次回は8月28、29日。

(青砥航次、高橋弘毅)



みんなで生き物を集める



どれが強いか比べる

### 相模大堰のコアジサシはなぜ減ったか?

高田 浩

6月17日、2羽。18日、1羽。私が確認したコアジサシ（日本と豪州等を往復する渡り鳥）の個体数だ。相模川相模大堰付近は、コアジサシ営巣地として国内最大級であった。日本野鳥の会によれば近年、最大700羽近く確認できた日もあったという。しかし、ここ2年連続で営巣していない。原因は、2つ考えられる。1つは、餌となる鮎の激減。県水産技術センターによれば、鮎遡上数は、04年で2,290～2,880万尾。05年は52～72万尾。今年は65～77万尾。一方、多摩川などは、逆に鮎遡上数が増えているという。もう1つは、中洲の草。草が生えすぎると、営巣地として適さない。相模川は水道水でもある。時には、身のまわりの環境変化に思いを馳せたい。

## ○ あつぎ環境市民の会に入会しよう

「あつぎ環境市民の会」は、次世代に美しい地球環境を残すこと。住みやすい社会の創造をめざして活動しています。会員になって「あつぎ環境市民の会」を支えてください。

### 会員特典

- ・ 価値ある情報を得ることができます。

会報「みんなの環境」をお届けします。会報には環境に関する取り組みや、地域の環境問題など広く紹介します。また、会のイベント紹介、ボランティア活動のお知らせなどが掲載されます。

- ・ ボランティア活動

大気汚染の測定や、みんなの環境展の出展協力、各種観察会、講演会、講座、研究会に参加できます。すべてあなたの自由です。

### 会費は活動に役立てられます

- ・ 環境改善のための調査・研究——二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)モニタリングなど
- ・ 環境情報の発信活動——会報ニュースレターの発行、HPの維持管理
- ・ 市民への報告・提言・啓発——「みんなの環境展」を開催
- ・ 環境活動リーダーの人材育成——各種観察会、講座の企画と開催
- ・ 講師派遣——職場や学校、地域の環境学習に対する支援

### 入会方法

入会申し込み用紙に記入の上、下記あてお送りください。

あつぎ環境市民の会 事務局 243-0817 厚木市王子 2-14-3 山中延明 方

### 年会費

2,000円（4月から翌年3月まで）

会費納入は郵便振替口座 00200-7-132779 あつぎ環境市民の会

## あつぎ環境市民の会 入会申込書 \_\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

氏名（フリガナ）		男 女
住 所	〒	
電 話		
FAX		
E mail		
生年月日	T S H	

個人情報は会報発送など会員への連絡以外には使用しません